



ひとと自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ

やおつ

議会だより

No.187

2022.8



建設文教常任委員会・総務民生常任委員会合同行政視察研修



かに木曾川左岸公園



拠点機能形成車



救急ワークステーション

新丸山ダム工事事務所事業概要説明会	2
建設文教常任委員会・総務民生常任委員会 合同行政視察研修	3
第3回定例会議決情報	4
第3回定例会一般質問	7
議会日誌	12

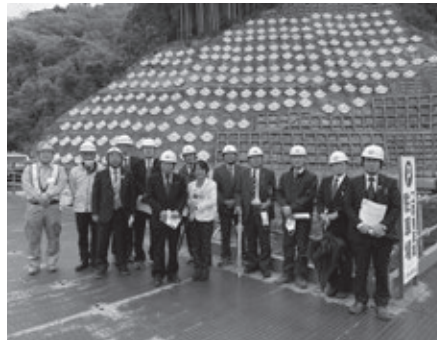


令和4年4月21日に令和4年度の新丸山ダム建設工事事業概要について、説明会を開催しました。

当日は、国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所から加納所長、蒲生副所長、三浦副所長、安井総務課長をお迎えし、令和4年度の新丸山ダム建設工事の事業概要の説明を受け、現場視察を行いました。



説明会の様子



転流工掘削現場



転流工掘削の説明



堤体右岸から工事現場を視察



DX技術のAR（拡張現実）の説明



地域振興としてダム内で蔵元による貯蔵酒の様子

事業概要説明会での質問内容

問	国道418号を地域に親しまれ語り継がれる道路として、メロディーロードを敷設してはどうか。
答	地域の方から親しまれ、語り継がれる道路として、八百津恵那間におきましても、地域振興の観点からどのように利活用できるかを一緒になって検討し、道路管理者である岐阜県と調整を図っていきたいと考えています。
問	新丸山ダムの全体像や中長期的な計画をはじめ、年度別で事業の告知などが分かる看板を事務所の駐車場入り口に設置してはどうか。
答	新丸山ダムの進捗状況を地域の方に知っていただくことは、大変重要であると考えています。現在はホームページや事務所1階ロビーで広報用の看板や資料を配置しています。今年度からCCネット等を活用して情報発信していく予定です。ご質問の看板設置につきましては、状況を見て検討課題とさせていただきます。
問	①地震の対応強度②本体工事は第2期工事で終了するか③第2期工事の発注時期④ダム見学の想定コース⑤第2展望台や第3展望台の整備予定⑥工事中の洪水調整能力
答	①最新の設計基準で実施しています。ダム直下の地震であってもダムの安全性は確保されています。②・③第2期工事の発注予定はありますが、今の段階では不確定な要素があるため、回答は差し控えます。④・⑤昨年度4月にオープンした新展望台「まるっとテラス」から見学を予定しています。ダムの進捗状況に応じて見学できるようなステージを施工者と検討していく予定です。⑥洪水調整機能を確保しつつ工事を進めますので、能力が下がることはありません。

令和4年5月13日に、建設文教常任委員会と総務民生常任委員会の合同行政視察研修を開催しました。

(建設文教常任委員会)

●八百津町のごみ処理に係る処分工程の現状について

●木曾川右左岸の公園整備の現状について

(視察を終えて) 赤塚孝博委員長

ささゆりクリーンパークは、再生エネルギー事業も取り入れるなど、環境に配慮したクリーンなごみ処理が実現されていた。町のごみ処理も安全安心に処理されていることが確認できた。その他プラの受け入れについても、既に想定されており、町の取組みに影響を及ぼす心配もないことが確認できた。

可児市の木曾川左岸は、公園と防災を兼ね備えた多機能型公園として、美濃加茂市の木曾川右岸は、市の魅力を発信する拠点公園として整備されていた。人が集まる様々な仕掛けやアイデアの必要性、町民の安全安心の拠点整備など、当町の木曾川畔を活用したまちづくりのひとつの手法として大変参考となった。



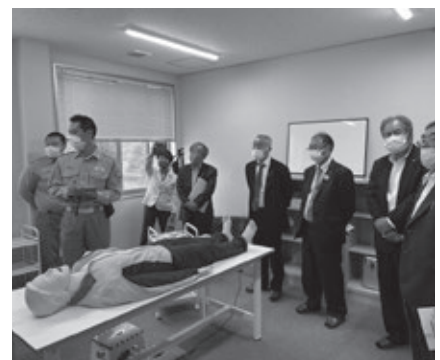
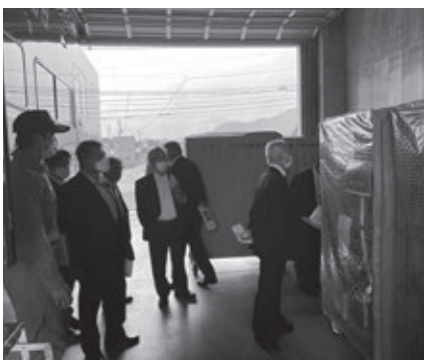
(総務民生常任委員会)

●災害時における消防隊の拠点機能体制の現状について

●救命救急技術の向上に資するために設置された救急ワークステーションについて

(視察を終えて) 後藤一夫委員長

拠点機能形成車は、岐阜県では1台のみ可茂消防中消防署に配備されている。全国規模で展開する消防隊の救命救助活動を後方から支援できるよう、付帯設備も配備されており、万が一、大規模災害が発生した場合においても、いち早く拠点体制が確立できるものと大いに期待する。また、救急ワークステーションは、可茂地区の拠点医療機関である中部国際医療センター内にあり、可茂消防が救命士の技術向上を目的として設置した。今後の救急体制に欠くことができない救命士が実際の現場で指導を受けることができる拠点が整備されたことで、今後の救急技術の向上を図り、地域の救命救急体制の更なる充実に期待する。



6月 定例会

- 令和3年度一般会計補正予算など
9議案を承認・可決
- 「八百津町再生可能エネルギーについて」など
7氏が一般質問



令和4年度第3回定例会は、去る6月9日に招集され、同月17日までの9日間の会期で開かれました。

本会議初日には、金子町長から行政報告と提案説明があり、続いて、執行部から提出議案8件について議案説明が行われ、各常任委員会にそれぞれ議案の審査を付託し散会しました。

本会議最終日の17日には、7名の議員が一般質問を行いました。この様子はCCネットにより生中継と録画放送されました。次に、追加提案された議案について常任委員会に審査を付託しました。その後、各常任委員会委員長から付託された案件について審査の経過と結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり承認・可決し、今定例会を閉会しました。



令和4年度一般会計補正予算説明からの抜粋

新型コロナウイルスの感染拡大防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等の事業及びコロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活に困っている方々や事業者の負担を軽減するため措置された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した事業をはじめ、当初予算の編成時以降、新たに必要が生じた事務事業経費の予算をお願いするものです。

主な事業を第5次総合計画の基本目標に沿って説明します。

基本目標1 笑顔で寄り添う福祉と健康のまちづくり

- 新型コロナウイルスワクチン接種委託料 1,639万6千円
- やおっち子育て応援券交付事業 1,375万4千円

基本目標2 快適な生活を過ごせる安心・安全なまちづくり

- ライフライン保全対策事業 1,301万6千円
- 総合案内窓口用AIロボット・セミセルフレジ購入費 543万4千円

基本目標4 とともに考え、ともに創る魅力・にぎわいのあるまちづくり

- 議会DX推進事業 524万5千円
- やおっちふるさと応援券交付事業 1億736万円
- 農業委員会タブレット端末購入事業 111万1千円

いんなじごとが決まりました



予算

▼令和3年度八百津町一般会計補正予算(第11号)

主な内容は、新丸山ダム対策基金、明日のまちづくり基金等に積み立てを行うと共に子育て世帯臨時特別給付金給付事業の経費を繰り越して使用するもので次のとおりです。

▼諸支出の追加

……6億1050万1千円

▼令和4年度八百津町一般会計補正予算(第1号)

主な内容は次のとおりです。

▼議会関係の追加

……524万5千円

▼総務関係の追加

……1億5063万2千円

▼民生関係の追加

……1809万4千円

▼衛生関係の追加

……1959万9千円

▼農業関係の追加

……143万1千円

その他

▼財産の処分(立木の処分)

▼所在地 八百津町久田見字清水谷5201番地1 外7筆

▼種別 立木(スギ・ヒノキ等)

▼数量 1万404本

▼処分の目的 当該町有林を新丸山ダム建設事業に伴う町道八百津久田見線(原石山線)及び建設発生土受入地工事用地として活用させるため。

▼処分の方法 土地賃貸借契約に伴う物件移転

▼補償費 2278万6千720円

▼相手方 分任支出負担行為担当
官国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所長
加納啓司

▼財産の取得(物品の取得)

▼物品の名称

八百津町役場及び役場出先機関用タブレットパソコン

▼数量 90台ほか一式

▼取得の目的 所有権移転付き賃貸借契約(長期継続契約)の期間満了による取得

▼取得の方法 無償譲渡

▼借入の期間 令和4年12月1日から令和9年11月30日まで

▼取得の日 令和9年12月1日

▼契約の方法 指名競争入札

▼契約の金額

月額 39万390円

総額 2342万3千400円

▼相手方 NTT・TCリース

株式会社東海支店

支店長 野田礼史

▼6月定例会の議案は、次ページをご覧ください。



八百津町議会次回の定例会は

9月7日(水)
開会の予定です

一般質問の様子は CCNet 地デジ 12ch
で生中継・録画放送されます

詳細は議会事務局までお問い合わせください

☎43-2111(内線2302)



議案番号	議案名	結 果	安 藤 峰 行	赤 塚 孝 博	後 藤 香 代 里	後 藤 一 夫	長 谷 川 泰 幸	林 俊 宏	館 林 久 宜	加 藤 良 治	山 田 勉	三 宅 和 行	主な内容
議案第26号	専決処分した事件の承認について (八百津町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	人事院規則19-0(職員の育児休業等)の一部を改正する人事院規則の公布に伴い、所要の改正を行うため、条例の改正を行うもの
議案第27号	専決処分した事件の承認について (八百津町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地方税法等の一部を改正する法律ほか関係法令の改正に伴い、所要の改正を行うため、条例の改正を行うもの
議案第28号	専決処分した事件の承認について (過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う八百津町固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	所得税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うため、条例の改正を行うもの
議案第29号	専決処分した事件の承認について (八百津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地方税法施行令等の一部を改正する政令の公布及び新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免措置の継続に伴い、所要の改正を行うため、条例の改正を行うもの
議案第30号	専決処分した事件の承認について (八百津町介護保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者に係る保険料の減免措置の継続に伴い、所要の改正を行うため、条例の改正を行うもの
議案第31号	令和3年度八百津町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6億1,050万1千円を増額し、予算総額71億7,792万2千円
議案第32号	令和4年度八百津町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2億5,149万3千円を増額し、予算総額61億2,449万3千円
議案第33号	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	立木の処分
議案第34号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	財産の取得

常任委員会での主な質疑

Q 応援券について、原油高等の物価高騰に対する支援分が分かるように表示すべきではないか。

A 応援券の裏面に説明を記載するとともに、ホームページや案内文書でも周知を図っていきます。

Q 補正予算で上がっている総合窓口案内A-1化は具体的にどのようなものか。

A 新型コロナウイルス感染症に対応するため接触機会の削減を目的に、窓口案内の対応を、タブレットを活用したA-1コミュニケーションロボットにより行うシステムを導入するものです。

Q セミセルフレジとはどのようなものか。

A 新型コロナウイルス感染症に対応するため、現金の手渡しの接触機会を減らし同時にキャッシュレス化を進めます。具体的には、町民課に料金の支払い用セミセルフレジを導入するものです。

Q 公金ステーションはどんなものか。

A 感染症防止対策事業として、公金収納の無人化を図るため、納付書等を読み取り、納入できるシステム機器を導入するものです。

Q 農業委員会で購入するタブレット端末機はどのように使われるのか。

A 農業委員会で遊休農地の利用状況調査を行う際、タブレットを活用して調査入力や現場写真の撮影などデジタル化を図るものです。



ピックアップ
PICK UP!

〇やおっち子育て応援券交付事業
(子育て世帯家計支援事業)

子育て世帯への原油価格、物価高騰に伴う家計費支援として、応援券を追加交付します！

対象者：0歳～18歳 10,000円/人
利用期間：12月31日まで



〇やおっちふるさと応援券交付事業

ふるさと応援券5,000円/人に原油価格や物価高騰に伴う家計費支援分5,000円/人を上乗せして交付します！

対象者：全町民 10,000円/人
利用期間：12月31日まで



一 般 質 問

～ 主な質問と答弁の趣旨 ～

質問者	質問事項
林 俊 宏	八百津町再生可能エネルギーについて
後 藤 一 夫	ウクライナ避難民に対する対応について
山 田 勉	消防団員の確保に向けた消防操法大会の今後の進め方について
舘 林 久 宜	非認知能力を高める教育について
	保育士等の処遇改善について
後 藤 香 代 里	母子健康手帳の名称について
赤 塚 孝 博	蘇水公園の管理について
安 藤 峰 行	高齢者の運転免許証自主返納支援について

一般質問と答弁は、質問議員本人の文責です。

ご利用ください
「一般質問動画配信」



本会議（一般質問）の録画映像「YouTube 八百津町議会チャンネル」



林 俊宏 議員



問1-1

八百津町再生可能エネルギービジョンの制定から約7年が経過したわけですが、取組の現状についてお伺いします。

問1-2

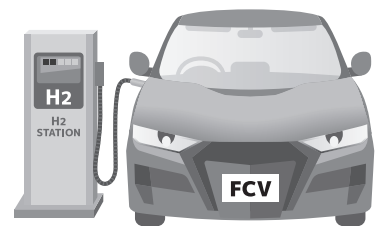
本事業の目的に関連産業を充実させ、雇用の場を創り出すことがあると思いますが、2024年以降の再生可能エネルギービジョンの将来計画をどのように考えているかお伺いします。

答1-1 (大鋸地域振興課長)

平成28年7月に清流パワーエナジーはじめ民間企業3社と岐阜大学、県、町の6者による「水素社会の実現に向けた産学官連携協定」の締結がスタートです。平成29年3月、地球温暖化対策等の課題を解決するため、八百津町再生可能エネルギービジョンを策定しました。本ビジョンは水素エネルギーを柱とし、久田見地区で水素の製造と県内水素ステーションへの供給、余剰エネルギーの活用、災害時の活用等を定めたもので、防災センター南には、太陽光と水素で発電する電力と水の供給システム「G-Force」の導入が実現しています。現在の取組は、関係企業と定期的に進捗状況の共有の場を設けており、昨年10月には企業主催によるキックオフミーティングの開催など事業化推進に努力している状況です。岐阜大学では、中山間地域での利活用に向けた研究を継続して行っています。

答1-2 (大鋸地域振興課長)

雇用の創出については、ステーションが開所した平成30年4月に募集しましたが、応募はありませんでした。将来計画については、今後見直しを行うにあたり、水素を活用したまちづくりとして関連事業の活発化を念頭に、事業全体を見直した上で、現ビジョンを補完する実施計画として位置付けていきたいと考えています。この水素を町内で1日でも早く製造し供給できる体制の構築を関連事業も含めて、今後も企業側に働きかけを行ってまいります。



後藤 一夫 議員



問1

ロシアがウクライナに侵攻して3ヶ月、その間に600万人以上の方が近隣の国々に避難したと言われております。日本にも1154名の方が避難されています。この八百津町は、「人道の町やおつ」をキャッチフレーズに掲げている町ですので、今後、ウクライナ避難民を積極的に受け入れる町であることを宣言してはいかがでしょうかお伺いします。

答1 (奥村総務課長)

ウクライナからの避難民を受け入れた後の社会生活を想定し、多くの環境を整える必要があります。通訳の確保や生活のサポート、住居・食料や生活用品などの提供、医療・就労・就学などの支援、日本語教育支援などニーズをくみ取る必要もあり、直ちに解決が難しい課題です。避難された方が安全安心に暮らせることを大前提とするならば、現時点で安易な宣言は避けたいと思っています。

引き続き、出入国在留管理庁を中心に、国や県及び関係機関と連携を図りながら、支援申し出等の情報を共有し、必要な場合は適切に対応してまいります。

町では、杉原千畝氏の人道精神に基づき、ウクライナ支援のため募金活動を行い、355万5372円を日本赤十字社から周辺国等へ寄附させていただきました。



山田 勉 議員

問1

近年、団員数が全国的に減少している中、消防操法大会を取りやめる、また、見直しをする自治体が出ています。大会自体が競技性を求めるあまり、団員の負担が増えて団員減少の一因となっているものと思います。今後、消防操法大会の見直しや改善を行う考えはあるかお伺います。

答1 (平井防災安全室長)

全国的にも消防操法大会の在り方については、検討がなされています。消防操法大会に向けた訓練や練習が、消防団員の方にとって負担が一番大きいとも言われています。こうした中、今年度より消防団員の定員、報酬、出勤報酬及び支給方法の見直しを行い、団員の処遇改善を図りました。消防操法大会は、ここ3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しているのが現状です。今年度、消防操法大会に代わる訓練として、5月に消防ポンプの機械及び器具の取扱い訓練を実施し、6月には水出し訓練及び中継訓練の実施など、地域の消防力の維持向上に努めています。将来にわたり、地域の安全と安心を守る要として町民の皆さんの期待に添えていけるよう、消防団の再編をはじめ、消防操法大会の在り方・見直しについて、消防団本部や関係機関と協議しながら改善等を図っていきたくと考えています。

舘林 久宜 議員

問1-1

子供の教育において注目される非認知能力は、例えばコミュニケーション力、我慢強く最後までやり抜く力などを指します。これから複雑な時代を生きていく子供たちに、この非認知能力を高める町独自の教育を推進してはどうかお伺いします。

問1-2

保護者に対する非認知能力の重要性を伝えていく取組みについてお伺いします。

問2

政府が発表した看護・介護・保育などで働く人の収入引き上げは、公立の保育所も対象となります。町の保育士に対して、給与の改定や手当等による処遇改善を行ってはどうかお伺いします。



答1-1 (社本教育長)

非認知能力の育成は古くて新しい課題で、人格の完成に至る極めて重要な内容です。文部科学省も戦後の教育基本法公布以来、その育成のため時代の課題に応じて重点化しています。各学校では、校長の学校経営ビジョンで非認知能力育成に係る項目が必ず位置づいています。非認知能力の定着度は、全国学力学習状況調査や町が採用するQUテストで確認し、この結果を個々の指導に生かしています。普段の教育活動を非認知能力育成につなげるためには、教職員の指導スキルの向上も大切であると考えます。今年度、各学校に「夢志の種」という非認知能力に係る視点や評価の観点を示しました。「挑戦する」「夢中になる」「目標をもつ」「努力する」「よく考える」「斜めから考える」「心の声を聴く」「引き出し合う」「しなやかに立ち直る」の9点です。今後の取組みでは、1点目に各種研修の充実です。研修を通して教師の指導力を高めたいと考えています。2点目に非認知能力育成の指導指標として、仮称「響き合う人道の町夢志育成プラン0to15」の作成を考えています。

今年度、保育園が教育課所管となったことから、0歳児から15歳までの発達段階を踏まえた非認知能力育成の目標やポイントをまとめて、各園や小中学校の指導の指標、また、家庭への啓発資料としていきたいと考えています。

◀…次ページへ続く



答1-2 (社本教育長)

非認知能力の育成は、家庭教育が大変重要であると考えています。子供たちの言動、家族の関わりなど毎日の積み重ねが非常に大切ですので、家庭への啓発は、先ほどの指標も活用しながら、機会を通じて啓発してまいります。



答2 (後藤秘書室長)

処遇改善の実施は、国から職員の専門的知識の必要性や欠員補充の困難性、業務の特殊性を考慮して、地域の民間給与水準を踏まえたうえで、各団体の状況に応じて検討することと通知されています。

保育士では、内閣府の令和元年度幼稚園・保育所・認定こども園等の経営実態調査集計結果を基に類似する民間施設と比較いたしますと、8.9%ほど上回っている状況です。内閣官房の公的価格評価検討委員会の中間整理で報告されている厚生労働省の令和2年度賃金構造基本統計調査と比較しましても、5.3%上回っています。

町では、職員は行政職の給料表を適用し、昇給や昇格に関しても一般職と同様に実施しており、また毎年人事院勧告による給与見直しも行っていることから、保育士等が職務や職階に応じた給与水準を満たしているものと考えており、処遇改善を行う予定はありません。



後藤 香代里 議員



問1

子育てをめぐる環境や価値観の変化に伴い、全国的に「母子健康手帳」の名称を「親子健康手帳」などへ変更する自治体が増加しています。八百津町も名称変更を検討してはいかがでしょうかお伺いします。

また、国の検討会では、名称変更以外にも、産後のメンタルケア、父親の育児参加を後押しする内容の検討、手帳の電子化、多胎児や障がいがある子供への配慮を盛り込むことなどについても意見が交わされています。これについてのどのようにお考えかお伺いします。

答1 (上野健康福祉課長)

全国各地でも、名称変更について議論されており、男性の育児への参加の促進と多様性に対応するためにも、名称を変更することは、ひとつの手段であると考えます。町としては、今年5月に開催された国の検討会の見直しの結果を踏まえて対応することとしており、名称変更に対する方針が示されるのを待っています。

また、名称変更以外については、名称変更だけにとどまらず、手帳の記載や活用そのものに対して、男性をはじめ、家族が関わりを持つようなものとなるよう研究をするとともに、子育てに対して、男性や家族の積極的な参加を促進する施策も検討してまいりたいと思います。



赤塚 孝博 議員



問1-1

蘇水公園は、総合運動場、また、指定緊急避難場所やヘリポートなど多目的に活用される公園です。現在の公園の管理状況をお伺いします。

問1-2

現在、公園内の膝高で伐採された切り株や電線に樹木が被さっている箇所が見受けられます。台風等の強風による被害等を心配しますが、その対策についてお伺いします。

答1-1 (赤塚教育課長)

公園の維持管理は、光熱水費をはじめ、スポーツ施設やトイレなどの修繕費、清掃・芝・樹木管理を行っています。清掃等については、八百津町シルバー人材センターに管理委託しています。また、担当者により目視で点検を行い、危険箇所にはトラロープによる立ち入り禁止の表示や軽微な補修を行うなど、その都度対応しています。



答1-2 (赤塚教育課長)

公園内の切り株やトラロープが張ってある危険箇所について、台風による強風の被害等も想定されますので、重点的に点検を行い、状態に応じて必要な対策を講じます。また、樹木等が電線に支障をきたす箇所については、関係機関と協議を行い、一部伐採を進めてまいります。他の樹木の伐採等については、景観に配慮しながら、専門業者に相談して適正な管理に努めてまいります。

安藤 峰行 議員



問1

全国で高齢者による交通事故が頻繁に発生しています。免許証の自主返納がたびたび議論に挙がりますが、車のない生活は不便で自主返納には大変な決断が要ります。他市町村では、単年度のみ支援事業を実施されていますが、免許証の自主返納を進める上で、複数年度にわたる支援やシニアカーの購入補助制度など検討していくべきと思っています。今後の自主返納の推進と独自の支援策について、町の考えをお伺いします。

答1 (平井防災安全室長)

安全な運転の継続が困難となった方に対しては、運転免許証の返納を求めていくことが重要であると考えます。しかし移動手段の確保が難しく、日常生活に支障をきたすなどの理由から、全国的にも自主返納が進んでいないのが現状です。当町では、令和2年度から誰もが使える公共交通手段として、「やおまる」の運行を始めました。低料金で乗車できますので、安心して利用いただけます。

また、岐阜県では免許証返納者に運転経歴証明書の発行を行っています。民間事業者による割引制度など支援策を設けているところもあります。町としましては、今後も警察と連携し、高齢者の運転免許証の自主返納を促すとともに安全運転講習の受講等を推進してまいります。また、公共交通の充実をはかるとともに、独自の支援策については、他市町村を参考に調査、研究をさせていただきます。



議会日誌

(令和4年4月から6月)

[4月]

- 1日 ○町職員辞令交付式
- 2日 ○町消防友の会総会
○自治会長会
- 19日 ※固定資産評価審査委員会
- 21日 ○議会全員協議会
○新丸山ダム建設工事事業説明会
及び現地視察
- 25日 ※例月出納検査
- 26日 ※随時監査

[5月]

- 6日 ○議会だより編集委員会
- 13日 ○常任委員会合同行政視察研修
○議会ICT検討会
- 18日 ○町商工会通常総代会
- 20日 ○議会全員協議会
- 24日 ○可茂町村議会議長会
- 25日 ○新丸山ダム建設促進期成同盟会
総会
※例月出納検査
- 26日 ※随時監査
- 30日~31日
○全国町村議会議長・副議長研修会

[6月]

- 2日 ○県町村議会議長会臨時総会・評議
委員会
- 3日 ○議会運営委員会
- 5日 ○加茂郡体育大会
- 9日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会開会
- 15日 ○建設文教常任委員会
○総務民生常任委員会
- 17日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会閉会
- 21日 ○可茂町村議会会長研修
- 22日 ○民生児童委員推薦会
- 24日 ※例月出納検査
- 27日 ※決算審査(公営企業会計)



information

八百津町の
新しい魅力を発信!

八百津ストリート フェスティバル

- YAOTSU no OYATSU -

開催日 令和4年10月1日
午前10時~午後4時

場所 八百津町八百津本町通り

内容 ・キッチンカーグルメ
・マルシェ など



議会だより 8月号編集委員会



クールビズ(軽装) 実施中!!



冷房温度の適正化のため、ノーネクタイ、
上着非着用の涼しい服装で、執務しています。
みなさまのご理解ご協力をお願いします。

実施期間: 5月9日~10月31日

 八百津町